

鹿沼市議会 経世会

2022年3月31日発行
発行責任者 館野 裕昭



令和4年3月定例会終了後、市長に要望書を提出いたしました。各要望に対し、前向きに検討するとの回答を頂きました。

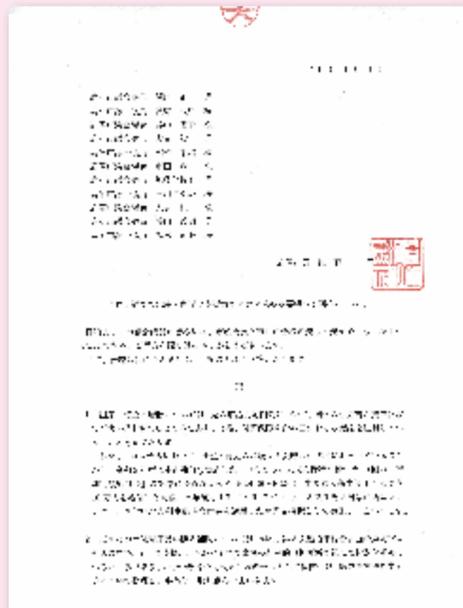
◆経世会要望書◆

- 一、自主防災会と学校や企業等、各種団体との関係を深め、更なる地域防災力の強化を図ること。
- 一、地域公共交通網の拡充を図るとともに収支改善を図りながら、終身無料乗車券は堅持すること。
- 一、こども医療費助成制度を高校3年生まで拡充すること。
- 一、地方創生拠点整備交付金を利用したハード事業を進め、ふるさと納税返礼品を充実し、納税の増収を図り、若者が移住定住したくなる環境整備を推進すること。
- 一、誰もが安心して遊ぶことができるユニバーサルデザインを取り入れたインクルーシブ公園を整備すること。

昨年10月、4会派(経世会、親悠会、政新クラブ、立憲民主党)合同で『コロナ禍での出産・育児の支援策の充実を求める要望書』(出産祝い金の支給と、紙おむつ等の育児用品購入補助の検討)を提出しました。

これに対し、佐藤市長より回答を頂戴し、その後、議会の承認を経て以下の2事業の実施が決まりました。

- 1 出産育児一時金「いちごっこ未来応援特別給付金」
令和3年4月1日から令和4年3月31日生まれの新生児を対象に、本市独自に10万円を支給致します。
- 2 新生児を養育する保護者を対象に、おむつ等の赤ちゃん用品も購入できる商品券1万円分を交付する「子育て応援券事業」を実施し、令和4年4月より支給致します。



皆様こんにちは、鹿沼市議会「経世会」代表の館野裕昭です。皆様におかれましては、昨今の新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、市政全般にわたり多大なるご協力をいただいていることに、深く感謝申し上げます。

また、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会の平和秩序を脅かす行為であり、断じて容認できません。政府には、世界の恒久平和の実現に向けた対応を求めてまいります。

本市では、防災拠点としての新庁舎整備も第二期工事に入り、令和5年5月の全館開庁に向け工事中であり、鹿沼インター産業団地造成工事(分譲面積 17.6ha)も順調に進められております。

新年度からスタートします「第8次鹿沼市総合計画」を前に、子供からお年寄りまで安心安全に住み続けられる鹿沼市を持続出来るよう、私達は日々活発な議論を交わして参りました。また、一貫して議員定数の削減を主張し、段階的に定数20名(人口5千人当り1名)の議員が妥当であると訴え続けております。

今後とも皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

経世会代表あいさつ



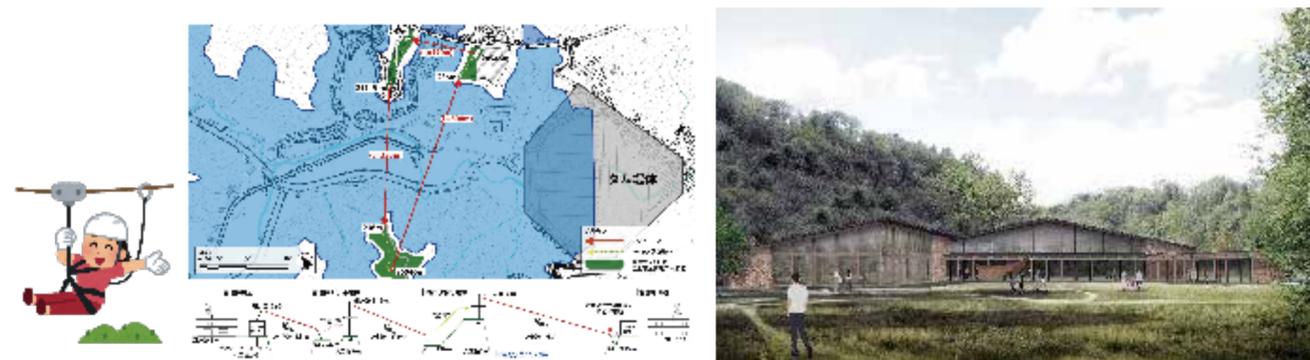
いちご いちえ
鹿沼市 Tochigi Japan

かぬまトピックス

1. スノーピーク直営のキャンプフィールドとしては関東初!

南摩ダム関連事業『水源地域振興拠点施設』に、温浴施設や農村レストラン、キャンプ場等の整備が予定されています。

また、ダム湖周辺に隣接する『水と緑の南摩の里アクティビティゾーン』(県が維持管理運営)の指定管理者が本年4月より募集開始となり、全長約1kmに渡る湖面上の3本のジップラインや森林アスレチックの全貌が県のHPで公開されています。自然の癒しとアウトドアが楽しめる拠点整備により、首都圏からのアクセスが増加し、観光振興と市域活性化が期待されています。



2. 全小中学校で英語のデジタル教科書使用開始予定

児童生徒用デジタル教科書は令和3年度文部科学省の実証事業に参加した北小学校、栗野小学校で算数、西中学校、栗野中学校で理科を使用しました。

令和4年度は全小中学校が実証事業に参加し、英語のデジタル教科書を使用する予定です。

なお、児童生徒用デジタル教科書の導入については、文科省の動向や実証事業の結果を踏まえ、令和6年度の導入に向け、検討される予定です。



3. 市の財政負担を増やさず全小中学校の照明をLED化 CO2の大幅削減が期待されるESCO事業とは!?

ESCO事業とは、照明のLED化による電気料金の削減費用内で、「工事」、「物品調達」、「保守」を行なう事業です。

今年度長期契約を締結し、夏休みや大型連休を中心に約1年かけて順次工事を進め、令和5年度ESCOサービスが開始される予定です。

試算では、年間電力量約100万kWh、CO2は510t削減効果があるとされています。



鹿沼市立栗野小学校

4. 鹿沼北小が「耐震改修優秀建築賞」受賞 全小中学校の耐震補強工事が終了しました

現役の木造校舎としては国内でも最大級とされる鹿沼市立北小学校が、防災・安全性や意匠などに優れた建築物を表彰する「耐震改修優秀建築賞」(一般財団法人日本建築防災協会主催)を受賞しました。又、北小学校の耐震補強工事を最後に、市内全ての小中学校の耐震化が終了しました。

また、小学校通学路における危険ブロック塀等を撤去する補助金上限20万円が令和4年度より支給されることになり、通学路の安全・安心が図られます。



鹿沼市立北小学校

経世会議員 市政一般質問

質問 ライフライン等の通信回線を活用した、高齢者・障がい者の見守りについて伺います。

答弁 小林保健福祉部長（令和3年9月第3回定例会）
本市では、ライフラインを活用した見守りは行っていませんが、鹿沼市新聞配達所長と協定を結び、業務中に異変を感じた場合に通報してもらうことになっています。また、ひとり暮らしの高齢者等に対し、急病や災害等の緊急時に迅速に対応できるよう緊急通報装置を貸与したり、職員がごみの戸別収集時に安否確認を行っています。
通信回線等を利用した見守りを取り入れることは、高齢者の見守りネットワークの重層化が更に強化されると考えます。安心して暮らせる地域づくりの推進のため、より効果的な見守りが進められるよう検討してまいります。

質問 水源地域振興拠点施設の、コア施設内のボイラー設備はどのような仕様を予定しているか伺います。

答弁 佐藤市長（令和3年9月第3回定例会）
木質バイオマスのボイラー整備については、CO2の排出量をゼロにするカーボンニュートラルの考えからも非常に貴重な提言であると思っております。しかしながら、令和6年のオープンに向けて既に実施設計も大分進んでおり、非常に厳しいところではございます。温浴施設等で使用されるボイラーについては、コスト面、運営面でのメリットを踏まえ、今後の鹿沼市政に関わることで認識し、適切な仕様となるよう十分検討してまいります。



質問 学童支援員の処遇改善と、さつきが丘児童会の施設建て替え予定について伺います。

答弁 上林子ども未来部長（令和3年12月第4回定例会）
支援員の時給の現状は市の委託基準950円を参考に、各クラブにおいてそれぞれ定めており、900円から1200円となっています。支援員の処遇改善は必要だと考えていますので、予算確保に努めて参ります。さつきが丘児童会の施設については令和4年度に設計をし、令和5年度に整備する方向で検討を進めている状況です。 ※令和4年3月議会で、学童施設設計費用が予算化されました

質問 第二次教育ビジョン「確かな学びを育む教育」のうち、英語教育の拡充、強化について伺います。

答弁 中村教育長（令和4年3月第1回定例会）
各中学校との連携により中学生の英検受環境整備を進めており、来年度は中学校10校全ての会場で実施予定です。また、教員の負担を軽減するため、金曜日の放課後に試験を実施して学校もでございます。令和8年度まで英検3級程度以上の学力を有する中学3年生の割合を70%に高める指標については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり数値が若干下がったものの、順調に推移していると認識しております。

質問 富士山公園の遊具の更新とグリーンベルトで転倒の危険性が高まっている件について伺います。

答弁 福田都市建設部長（令和3年3月第1回定例会）
園路のグリーンベルトについては、設置から十年が経過し、表面の摩耗により路面が滑りやすい現状を確認しました。緊急的な措置として、表面を5mm程度切削し粗面にする予定です。
また、平成4年に設置した木製複合遊具は、経年劣化による腐食が進み、一部使用を禁止しています。今後、公園施設長寿命化計画に基づき、滑り台やアスレチック機能を有した金属製の複合遊具に更新工事を行ってまいります。 ※現在、富士山公園の遊具更新工事は完了しています



石川さやか(2期)

住所：鹿沼市天神町 1706-7
TEL:0289-63-1127
mail:saya926ka45@gmail.com
総務常任委員会
広報公聴委員会委員長



質問 下水道事業における消化ガス発電とB-DASH(ビーダッシュ)事業について、汚泥消化ガス発電の事業実績とB-DASH事業の黒川エコ肥料の販売実績について伺います。

答弁 木村上下水道部長（令和3年6月第2回定例会）
汚泥消化ガス発電の令和2年度事業実績は、発電量85万kW・h、売電額3,818万円でありました。黒川エコ肥料の普及や販売につきましては、民間事業者のノウハウなどを勉強しながら、共同研究体において研究をしております。今後も販売ルートを選定や汚泥処理費、肥料製造に要する燃料費、適正な肥料販売単価の設定など、収支バランスを総合的に判断しながら事業の推進を図ってまいります。
※ B-DASH事業とは、国が下水道の新技术開発を目的に推進している「下水道革新的技術実証実験」の通称です。本市では、月島機械と共同で事業を開始し、汚泥を脱水乾燥処理し「黒川エコ肥料」として製造販売しております。黒川エコ肥料の更なる販路拡大に努め、稼げる自治体を目指すべきと提言しました。

質問 道路整備について、本市南部の道路網計画と新設道路の信号機設置状況について伺います。

答弁 福田都市建設部長（令和3年6月第2回定例会）
市道0363号線（楡木小の黒川東から北に入る道路）などの整備により、藤江町地内県道宇都宮楡木線から大和田町や下奈良部町などを経由して、環境クリーンセンター東側の市道0017号線と接続しました。引き続き、新鹿沼橋東側で市道0347号線と接続するよう整備を進め、本市南部と市街地を結ぶ新たなルートを形成し、将来的には「宇都宮西中核工業団地」や「鹿沼インター産業団地」、「みぶ羽生田産業団地」などとのアクセスを強化し、県南地域や首都圏方面との交流拡大を見据えながら、広域道路網について検討してまいります。信号機の設置については、両路線の丁字路交差点ともに信号機が必要であると考えています。今後も安全で円滑な通行を確保するため、粘り強く信号機の設置に向け努力致してまいります。

質問 水道給水区域外での飲料水の確保について、市の支援策を伺います。

答弁 木村水道部長（令和4年3月第1回定例会）
県内他市町の支援策の状況を調査・確認した結果、各市町の支援内容は、地域の課題や置かれている状況に応じ異なっており、小山市、佐野市、那珂川町、那須町の2市2町で支援しています。今後、成果の確認分析を進めるとともに、実施に向け前向きに検討してまいります。

質問 水道事業関係質問中、水道修繕技術の継承と緊急時に対応するための人員の確保について伺います。

答弁 木村上下水道部長（令和3年9月第3回定例会）
緊急時及び昼夜を問わず発生する給・配水管の漏水などについては、経験豊富な技能労務職員対応せざるを得ない場合が多く、水道修繕技術は長年の現場経験の中で蓄積された知識と経験が重要であり、その継承は必要不可欠です。今年度下半期には2名程度を募集し、適宜採用配置してまいります。
※第1浄水場に上下水道庁舎があるため、誰でも立ち入ることが可能であり、防犯上の問題があると指摘し庁舎新築時には移転するよう提案しました。

質問 大芦川の川遊び対策について伺います。

答弁 佐藤市長（令和3年9月第3回定例会）
令和2年11月に川遊び対策プロジェクトチームを発足し、河川パトロールを実施。ロープやカラーコーンの設置、SNSや看板による啓発活動を行いました。また、警察は取り締まりを強化し、路上駐車が減少しました。県もルールづくりや駐車場の整備に対し「前向き進めるよう担当部局に指示する」との知事の発言がなされました。
※関連事項として、以下3件の提案もしました。
①「川の駅西大芦」構想の立案 ②河川利用に関する条例の制定 ③駐車場にゴミステーションの設置



小島 実(4期)

住所：鹿沼市中栗野 136
TEL:0289-85-3227
FAX:0289-85-3927
産業建設常任委員会
鹿沼市議会副議長



館野 裕昭(3期)

住所：鹿沼市北赤塚町 52-1
TEL:0289-75-2740
mail:minami@one.bc9.jp
教育福祉常任委員会
鹿沼市監査委員会



大貫 桂一(1期)

住所：鹿沼市加園 1026-1
TEL:0289-64-1172
mail:tharuayu0609@yahoo.co.jp
産業建設常任委員会委員長



質問 情報センター(マルチメディアホール)について、入場料の徴収について伺います。

答弁 高橋教育次長（令和3年3月第1回定例会）
情報センターは公民館と位置付けられており、社会教育法第23条による利用制限が設けられているため、原則営利を目的とした入場料の徴収を行う施設利用は許可していません。今後、更なる利用促進を図るため、利用者のニーズと地域の実情にあった柔軟かつ公平公正な運営を目指し、利用基準を見直してまいります。
※令和3年8月より、原則として営利を主たる目的とした利用は不可としますが、利用団体の安定した活動維持のために必要である場合、1回あたり2千円/人までの徴収が許可されることになりました。

質問 若年勤労者用住宅の入居対象者の入居条件「夫婦ともに34歳以下」という年齢制限について伺います。

答弁 福田都市建設部長（令和3年9月第3回定例会）
若年勤労者住宅は、若年層の夫婦が安心して暮らせる生活環境や、子育ての環境の整った住宅を提供することにより、若年層の定住化、地域の活性化、人口増につながることを目的として、平成21年度に栗野地区に建設されました。現在は4戸中1戸の利用となっており、入居募集の際は毎回問い合わせがありますが、年齢制限等により入居には至っていません。
今後は、新たなPR方法を検討し、引き続き利用促進を図った上で、入居条件の緩和など条例改正も検討してまいります。

質問 スペシャルニーズのある子もいない子も一緒に安全に遊ぶことができるインクルーシブ公園整備について伺います。

答弁 福田都市建設部長（令和4年3月第1回定例会）
障害のある子もいない子も一緒に遊ぶことができ、誰もが分け隔てなく遊べる遊具がそろう公園であります。
今後、「鹿沼市公園施設長寿命化計画」の中で、遊具の更新の際にインクルーシブ遊具の取り入れを検討していきます。



鈴木 紹平(1期)

住所：鹿沼市口栗野 962-1
TEL:0289-78-5784
mail:s.shohei148@outlook.jp
教育福祉常任委員会 副委員長

